

# 和良の郷だより

風鈴号  
和良おこし  
協議会発行  
和良おこし  
協議会

## 七夕相談会開催

### 和良の郷の未来を短冊に込めて

7月16日(木)「郡市民協働センター・七夕相談会」が行われました。市民協働センターのサブセンターでもある「わらおこし」が会場となり、郡上市協働センター長の上村さんと大中さんが相談員を務めました。



相談者からじっくりと話を聞く相談員

今回の相談会開催の目的は団体や自治会などの市民活動においての困りごと、助成金や補助金の利用について、他団体や行政との協働の進め方、講演会の開催、人材育成などを気軽に相談できる場を地域のなかにつくることです。

相談会が始まると、早速、町内の集落で農業を主に活動をされている団

体からの相談がありました。

団体が管理する畑で、地元住民が交流する機会を設けたり、作物や獣害対策に関しての勉強会も行いたいとのことでした。

また、その畑の周りの環境を住民憩いの場にする計画などのお話もありました。相談員の市民協働センターの上村英二さんと大中瞳さんが相談者のお話を聞きながら、アドバイスをされていました。

その後も様々な相談者が来られ、熱心に相談されている姿がありました。

さて、今回の相談会の名前に付いている七夕ですが、もともとは中国の行事で、日本に昔からあった「棚機津女(たなばたつめ)」の伝説と合わさったようです。そして、笹に短冊を飾るのは日本独

自のようです。

会場には「未来のふるさと和良の郷はどうなっ  
てほしいですか?」というテーマについて書かれた短冊が飾られています。そのなかの一つに「子どもたちがいつでも帰ってこられるふるさとが残っています様に」と書かれており、相談会終了後に相談員の上村さんと大中さんと様々な視点からのふるさとについての語らいが弾みました。

例えば定年してからや、若者がUターンした場合、「ふるさと」はどう映るのでしょうか?親が子を想うの「ふるさと」はどう映るのでしょうか?それぞれが思うふるさとの原風景は、子どもの頃過ごした時間や思い出の場所かもわかりません。

いつでも誰もが思う原風景がそこにある「ふるさと和良の郷」を繋いでいきたいですね。



会場に飾られた短冊



### 和良鮎いいね!

今年の和良川での鮎掛けは、感染症の影響から特別解禁が無くなってしまったり、一般解禁の日程を延期したり、解禁当日の強い雨による増水などによって困難を迎えました。

ところが解禁日翌日からは快晴が続き、平日にもかかわらず和良川は解禁日を思わせるほど釣り人がところ狭しと並びました。にぎやかな和良が戻ってきたのが嬉しかったです。

和良川も和良鮎も和良の自然もいつもと変わらない様子を見せております。みなさんには和良川への鮎釣りをはじめ、和良を満喫しに訪れていただきたい

と思います。

また、和良鮎を守る会では順調を通り超えて、連日の様に鮎の集荷も多くとても大盛況の様子です。各地のお店より注文もたくさんいただいております、ありがたい限りです。

和良鮎を守る会ではサイトよりFAX注文用紙も用意して、個人からのご注文も承っておりますので、どうぞご利用ください。

今年も「和良鮎」をよろしく願います。



和良鮎を守る会ホームページ



### オンラインで同窓会をのびませんか?

お盆の時期にはいつもふるさとに里帰りをして同窓会を開催している方も多いと思います。ところが今年

は新型コロナウイルスの影響もあり、集まりにくいと感じておられる方も多いのではないのでしょうか?高齢の親がいるとか、いろいろな気使いからふるさとに帰省するのも遠慮をされている方もあると思います。

そこで「Zoom」を使っての「オンライン同窓会」はいかがでしょう?和良おこし協議会がホストで開始しますので、無料で、時間制限なしで楽しんでいただけます。簡単な使い方マニュアルも用意できます。た

だし、対象は和良出身の方々限定で、同窓会冒頭に少しお時間をいただいで和良の現状の話をさせていただきます。簡単なアンケートにご協力ください。詳細は和良おこし・加藤まで。(097-577-227)

